

科目名	国語 Japanese	科目コード	20020
-----	----------------	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・2年
担当教員	高加茂 陽子
区分・単位数	履修単位科目・必履修・3単位
開講時期・時間数	通年，90時間【内訳：講義84，演習0，実験0，その他6】
教科書	『国語総合改訂版』，大修館書店（1年次からの継続使用。） 『精選現代文改訂版』，大修館書店 『新編古典講読（物語・小説 評論 漢詩・思想 史伝）』右文書院（以上の2冊は新規に使用。3学年まで継続使用）
補助教材	『カラー版新国語便覧新版初訂』，第一学習社 『形で覚える漢字の練習』，明治書院（以上の2冊は、1年次に購入済み）
参考書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典など

【A．科目の概要と関連性】

1学年での学習を基礎に、現代文・古典の読解と国語表現の実践とを通して、総合的な思考力を含めた国語力の向上を目指す。論理的思考力を鍛え、情操を深く豊かにし、伝え合う力を強化する。また、言語文化の諸相に触れることで、自らの世界観を広く深くし、充実した言語生活を獲得する。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
文章の叙述に即して内容を的確に読み取る力を身に付ける。	-	(a1)
さまざまな文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を広げる。	-	(a2・b1)
常用漢字の読み方・書き方に習熟し、使いこなす力を身につける。	-	(b2)
基礎的な古文・漢文を的確に理解する。	-	(a1・b1)
国語表現の特質を理解し、表現する能力を身につける。	-	(b2)

【C．履修上の注意】

平生の予習・復習を欠かさないことが何よりも重要である。授業で扱う教材は、事前に必ず通読し、語句の読みや意味を調べておくこと。特に、古文・漢文については、音読の練習を欠かさないこと。また、辞書や参考書を積極的に活用し、進んで発展的な学習に取り組むこと。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

定期試験（80％）【内訳：前期中間20，前期末20，後期中間20，後期末20】

その他（20％）

【E. 授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	現代文（随想・評論）の読解（1）	
2	現代文（随想・評論）の読解（2）	
3	現代文（随想・評論）の読解（3）	
4	古文の読解・鑑賞（1）	
5	古文の読解・鑑賞（2）	
6	古文の読解・鑑賞（3）	
7	前期中間試験	試験時間：50分
8	現代文（小説）の読解（1）	
9	現代文（小説）の読解（2）	
10	現代文（小説）の読解（3）	
11	国語表現の実践（1）	
12	漢文の読解・鑑賞（1）	
13	漢文の読解・鑑賞（2）	
14	漢文の読解・鑑賞（3）	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

後期

回	内容	備考
1	現代文（随想・評論）の読解（4）	
2	現代文（随想・評論）の読解（5）	
3	現代文（随想・評論）の読解（6）	
4	古文の読解・鑑賞（4）	
5	古文の読解・鑑賞（5）	
6	古文の読解・鑑賞（6）	
7	後期中間試験	試験時間：50分
8	現代文（小説）の読解（4）	
9	現代文（小説）の読解（5）	
10	現代文（小説）の読解（6）	
11	国語表現の実践（2）	
12	漢文の読解・鑑賞（4）	
13	漢文の読解・鑑賞（5）	
14	漢文の読解・鑑賞（6）	
-	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	